

# 慶應志木会会報

慶應志木会(慶應義塾志木高等学校同窓会)

1996 (春・夏号)



•vol. 15

## 第3回志木会総会に向けて

早いもので、平成4年11月に第2回総会后、今年で4年目に入っています。来年秋にはいよいよ第3回志木会総会が開催されます。

志木会幹事会では、その準備をスタートさせたところです。出席される方が1000名を越えるため、会場も限定されますが皆さんに便利な場所での開催を心がけています。

総会の冒頭では、会長選出及び会計監事の選任に続きリラックスした中でのアトラクションも企画しております。多くの卒業生の方々との出会いを大切に皆さんのご参加お待ちしております。

尚、来年度には改めて志木会より皆さんに直接、総会のご案内を通知致しますので宜しくお願いいたします。

開催日：平成9年 秋

## FROM SHIKI

●志木だより

## ■卒業式

3月24日(日) 第46回卒業式が挙行され、252名の卒業生を送り出した。推薦学部は文学部18名、経済学部76名、法学部法律学科40名、政治学科40名、商学部5名、医学部7名、理工学部42名、総合政策学部14名、環境情報学部5名、その他に辞退等5名があった。優等賞12名、皆勤賞28名、精勤賞45名の賞状授与のほか卒業40周年記念証の贈呈も行われ、6期卒業生猪尾寿夫、上田良三、梅沢 勉、江尻哲二、遠藤正一郎、大井 貞、大中邦典、近藤裕二、高橋新市、内藤久和雄、新実洋高、野本輝男、松本福太郎、真野信裕、茂木光義、山田耕三、横山寿夫、和田浩一の各氏のご出席がえられた。そして代表松本福太郎氏より本校の教育充実資金へのご寄付があった。

## ■“慶應志木の森”植樹祭

11期の卒業生であられる吉田善三郎君より慶應義塾へ山林約1.12haが寄贈され、それを記念して3月27日に現地三重県渡会郡大宮町滝原〈語らいの里・嘶野〉で盛大に行われた。長島常任理事をはじめとして鐵野校長・教員・生徒、遊志会、志木会、福沢記念育林会、そして地元の関係各氏など多数の参加のもとに行われた。

## ■平成8年度入学式

4月6日(土)午後2時より、鳥居塾長出席のもと入学式が行われた。受験入学者は一般185名、帰国18名、内部進学は普通部5名、中等部49名の総勢257名が入学した。尚、今年

度の入学志願者は合計1,550名であった。

## ■教職員の移動

今年度も専任・講師・職員合わせて各21名ほどの新任および退職の方々がおられた。特に今春定年を迎えられた国語科の三田・篠田の両先生及び外国語科の斉藤先生、そして職員の福島さん、また定年とは別に講師の鈴木春恵先生などは志木高に長く勤務されてこられた方々で懐かしく思い出される卒業生も多いのではないのでしょうか。

## ■慶早戦の応援

今年も6月1日(土)の第1回戦に1年生全員で応援に参加することになった。

## ■展覧会鑑賞

6月12日(水)に午前と午後に分けて、江戸東京博物館で行われている“シーボルト父子の見た日本”展および東京都現代美術館で行われている“アンディ・ウォーホル”を鑑賞・見学を行う。

## ■キャンパス見学会

6月22日(土)理工学部 希望者(1・2・3年)  
7月3日(水)湘南藤沢 希望者(3年)

## ■学部説明会

6月7日(金)文学部・総合政策学部・環境情報学部  
7月4日(木)経済学部・商学部・法学部

■歌舞伎教室

7月4日（木）国立劇場 1年

■志木演説会

7月5日（金）講師 飯野徹雄氏 中公新書

『フクロウの文化誌』の著者

（文責 伊藤明治郎）

創立50周年記念誌についてのお願い

志木校50周年記念誌編集委員会

志木会報12号でもお知らせとお願いをしましたが、1998年に迎える創立50周年の記念誌の準備を進めています。下記の三点について、OB諸氏の全面的なご協力をお願いいたします。なお、このことについての連絡や問い合わせは記念紙編集委員（松崎、小林、三義）または志木会事務局（竹内）までお願いします。

[1] 資料提供のお願い

OB諸氏の机の中などに眠っている志木校時代の資料を探し出して下さい。その時々々の志木校の姿や志木校生の生活を伝えるものであればどんなものでも結構です。学校へ寄贈して下さい。また、ものによっては一時お貸しいただいて、コピーを取るなどして記念誌のための資料として活用するほか、整理をして長く学校の資料として保管したいと考えています。なお、提供していただける資料については簡単なコメント（写真の撮影年月、内容など）を付して下さい。

写真・・・・・・・・・・個人、クラス、クラブ等々、それぞれの学校生活や各種の行事の様子を伝えるもの、校舎の写真などどんなものでも結構です。私服可の時代が長く続いた今では詰めえり学生服に丸い制帽の生徒の写真なども貴重な資料になると思います。別項に示した夏の制服についてのお知らせなどまさに隔世の感があります。なつかしく思いだされる方も多いのではないのでしょうか。

教科書・ノート・・・・・・・・教科書、授業ノート等で志木校50年の歴史が再現できないかと考えています。

印刷物・刊行物・・・・・・・・学校からのお知らせ、学校案内や入試要項、生徒証・

通知表・卒業証書（もちろん個人名の扱いは配慮します。）、収穫祭・生徒会・クラブ関係の刊行物、発表会のパンフレット等々どんなものでも結構です。

## [2] 寄稿のお願い

下記のテーマのうちからいずれかを選んで、「私にとっての」また「われわれにとっての」志木校を論じて下さい。400字原稿用紙5枚程度にまとめて下さい。第1次の締切を本年9月末とします。ふるってご寄稿下さい。なお、予算等が未定で、記念誌の形態等が決っていないのが実状なのですが、記念誌編集のための貴重な資料として原稿は最大限に活用させていただきます。また将来の75年史、100年史のための意味も含めて、原稿は学校に長く保存したいと考えています。なお、寄稿していただいた原稿のうち記念誌の中にそのまま活字化する場合もかなりあるかと思いますが、その場合には改めて個々に事前にご連絡いたします。

- 1) 志木校時代に熱中したこと
- 2) 思い出に残る学校行事
- 3) 印象に残る授業
- 4) 志木校での出会い
- 5) ○○○○部創設の頃
- 6) 21世紀の志木校
- 7) その他、志木校時代あるいは志木校をテーマに論題自由

## [3] 著書の寄贈のお願い

OB諸氏の執筆、編集された著書、図書を寄贈していただけませんか。今春で創立以来1万人を越えたOB諸氏の活動されている世界はそれこそあらゆる分野にわたっていますが、その世界の一端を具体的に目に見えるかたちで示すことができる方法として、またそのことを通じて志木校50年を考えるひとつの機会ができるのではないかということで立案しました。是非ご協力下さい。

提供して頂ける資料や著書・図書類、また原稿を郵送などでお届け願える場合は宛て先を「志木会事務局 竹内」として下さい。

# 中年健康談 | 第2回

## 糖尿病について

立川相互病院 内分泌代謝科 宮川高一 (23期)

### 糖尿病は国民病

糖尿病は大変患者さんが多い病気です。わが国の糖尿病患者の数は500~600万人にもおよびます。40歳以上では10人に1人が糖尿病ということになります。糖尿病のうちの大多数を占める「インスリン非依存型糖尿病」は遺伝との関連が大きい病気です。

### 怖いのは「合併症」

現在日本における視力障害の原因の第1位、約2万人が糖尿病の「合併症」である網膜症によって光を失っています。腎臓も悪くしやすく、新規透析の30%が糖尿病患者で透析導入原因の第2位です。心筋梗塞・脳梗塞も併発し、最近でも男性で平均寿命66.5才(発症の平均は55才)ときわめて短命な病気です。「合併症」で死ぬ病気、それが糖尿病です。

### 糖尿病は習慣病

遺伝の下地の上に、①食生活の西洋化による脂質・糖質摂取の増大、②自動車・電話・ファックスなど交通・通信手段の発達による運動量の減少、③現代社会におけるストレスの増大、④人口の高齢化、など過食・運動不足・ストレスと現代人そのものもつ「習慣」そのものが発症因子となります。

### 最近注目されてきた「死の四重奏」

最近糖尿病、肥満、高中性脂肪血症、高血圧と重なるとそれぞれが「軽症」であっても、大きな心筋梗塞への危険因子であることがわかってきました。これを「危険因子集積症候群」とか「死の四重奏」といいます。「喫煙」を加え、「死の五重奏」とも呼ばれます。とくに中年男性ではこれによる心筋梗塞の発症が多く注意が必要です。

糖尿病は早期発見・早期治療が大切です。毎年検診を受けましょう。

インスリン抵抗性症候群は、肥満であり、空腹時のインスリンの値が高く、中性脂肪が高値で、高血圧を合併していることが多いという特徴があります。この人たちは、糖尿病患者さんと同等かそれ以上に動脈硬化をおこしやすいという危険があります。まさに「心筋梗塞の予備軍」といえます。



妊娠中に「糖尿病境界型」を示す人を「妊娠糖尿病」と呼びます。この人たちは、糖尿病患者さんが妊娠した場合と同様に、「過体重児」や「新生児低血糖」など胎児への障害の危険性が増すので、妊娠中は糖尿病患者さんと同じように注意することが必要です。

「糖尿病境界型」といわれた人は、糖尿病患者さんに準じて食事および運動療法をきちんと行って体重を減少させ、血圧や中性脂肪を正常化させることが大切です。

## 「慶應志木の森」

志木高生に森林、自然への理解を一層深めてもらおうと、三重県在住の林業家で県教育委員である吉田善三郎氏（11期）が、山林1畝を寄贈、3月27日には植樹祭が催され、志木高生、先生方、志木会会員ら30名余がこの「慶應志木の森」で植樹し、地元の高中生や中学生と交流しました。

県南部に約1,100畝の山林を所有する吉田氏は地元の中学から志木高に進み、経済学部を卒業後3年間、現場作業を体験した後、現在、林業の近代化に努めています。酸素を増やし、水を蓄え、目を楽しませ、土砂の流出を防ぐ——吉田氏は、林業を「無限の可能性を秘めた環境産業」と考えています。

10年ほど前、地元の中学校に学校林の寄付を申し入れたときは「危険」、「受験の支障になる」などの理由で断られました。しかし最近、都会の子供の山村留学や、山仕事をする若者ボランティアが増えていることなどから、志木高生に自然の中での体験を通し、森林への理解と地元の若者らとの交流を深めてもらおうと、志木高、そして志木会に学校林づくりを持ちかけました。

植樹祭には志木高生、鐵野校長を始め先生方、志木会からは11期の同期会である遊志会の会員を中心として、合わせて約30名、地元からは、宮川高、昴学園高、三重高校、大宮中学校の教師、生徒ら10名が参加しました。スギやヒノキ、将来、花見や虫採りを楽しめるよう、サクラ、クヌギなど合わせて1,500本ほどが1本1本丁寧に植樹され、参加者は自然と親しみながら充実した1日を過ごしました。

後日、参加した志木高生からアンケートを取ったところ、「参加してよかった」、「今後も、機会があればやりたい」などといった感想が寄せられ、好評だったようです。

吉田氏は来年も約1畝寄贈する予定で、植樹のほか下刈りなどの参加者募集などを検討しているそうです。会員の皆様も、機会があれば参加され、「農芸の時間」を楽しんでみてはいかがでしょうか。



# もと 星の下のパーティ

碧い光の「百武彗星」が、私たちの頭上にあった。1万年に一度の邂逅である。

時は平成8年3月26日夜9時、場所は三重県大宮町滝原の「語らいの里・嘶野」。「慶應志木の森」植樹祭のイブの事である。吉田善三郎君の「彗星が見えます」の声に誘われ、全員外に出た。篝火をおとし、深閑とした谷間から、空を見上げる。

長島先生「良く見える・・・鉄野先生、百武彗星が見える日に植樹祭が出来るとは、何か大きな運命の中に居ようですね」。

鉄野先生「そうですね、慶應志木の森は幸せの星の下にあるのかもしれませんが。去年の、天の川も、素晴らしかったですね。ああ、見事だ・・・」。

鈴木管財部長、志木校の先生方、高木君、西君、須永君、古井戸君、橋本君たち皆も、自然にうなずいていた。大きな運命に抱かれた、幸せな時間であった。

「百武彗星」は、私たちの想いを知っているかのように、ひときわ、明るく、輝いた。

慶應志木の森実行委員  
遊志会 鴻田益孝  
(三田評論掲載)

## 課外授業

### 慶應志木の森「下草刈ツアー」 参加者募集!!

特典：ビール飲み放題（自費）

#### — 工程表（予定） —

日時	月/日(曜)	行 程	宿 泊
1	7/25 (木)	大型バス：乗務員 2名 渋谷⇨池尻IC⇨東名高速道路⇨牧之原SA⇨浜名湖SA昼食(特産うなぎ)⇨名古屋西IC⇨東名阪高速 8:40発 10:30-10:45 11:30-12:15 14:00頃 ⇨関JCT⇨伊勢自動車道⇨勢和多気IC⇨国道42号⇨大宮町 町内見学 (懇親会) 14:50頃 15:30頃 16:00頃	大宮町 吉田本家 嘶野 05988-6-2502
2	7/26 (金)	嘶野 ⇨⇨⇨ 下草刈り(志木の森)⇨⇨⇨ 昼食(弁当)⇨⇨⇨ 林野作業⇨⇨⇨ (夕食)バーベキュー キャンプファイヤー 8:30発 9:00 11:30-12:30 17:00	同 上
3	7/27 (土)	嘶野 ⇨⇨⇨⇨⇨ 国道42号 ⇨⇨ 勢和多気IC ⇨⇨ 伊勢IC ⇨⇨ 伊勢神宮(外宮・内宮) ⇨⇨ 鳥羽(昼食)~~~~伊良湖岬 8:00発 8:50-10:30 11:00 12:10 13:00 ⇨⇨⇨(メロン狩り) ⇨⇨⇨ 浜松IC ⇨⇨ 日本平PA ⇨⇨ 渋谷 13:30-14:15 16:00 16:45-17:00 19:00頃	カーフェリー

お問い合わせは 17期 須永まで  
勤務先 TEL 03-3596-3821

# 同期会だより

## 6期 慶応志木高校の卒業式へ出席して

平成8年3月24日(日)は前日とうって変わって晴れ渡った風の強い肌寒い日でした。(池袋より東武東上線の急行に乗ると20分弱で志木の駅へ到着、駅を降りると、まず町の変貌振りに目を見張りました。)



駅より歩いて学校へ、校門を入ると当時の面影は全くなく、わずかに桜と大きなヒマラヤ杉が昔のままの姿を残すのみです。(校舎や農場等当時の面影を残すものは全くといっていいほど見当たらないが、敷地の広さには今更ながら驚きいました。)

式典は午前10時より始まり、卒業生の全員に鐵野校長より一人一人に卒業証書が手渡され、続いて成績優秀者、皆勤賞、精勤賞の授与が行われ校長の挨拶、塾の常任理事よりお祝いの言葉があり、送辞そして答辞と続き、我々第6期の卒業生17名が卒業40周年ということで賞状と記念品拝領しました。

最後にこの3月の卒業式を最後に長く教鞭をとられた次の3人の先生が定年退職されました。

英語の斉藤顕先生、漢文の篠田雅雄先生、国語の三田熙先生の三人です。三田先生を最後に農業高校時代の先生は、いらっしゃらなくなる

そうです。

式典の後、別室にてビールと寿司の接待をうけ、その席に鐵野校長と伊藤主事がご挨拶にこられたので、志木同窓会よりお預かりした祝い金30万円と我々6期の卒業生38名よりの祝い金を寄贈しました。(真野記)

## 11期 遊志会

本年度の活動状況は次の通りです。

◎2月22日(木) 新年会 於：慶応大学三田ファカルティクラブ (幹事：D組)

来賓恩師 鐵野善資、野口福次、高山 弘、山田忠雄、建部勇之助 奥井泰夫 (敬称略)

客員 中川誼美、白莉

会員 浅原正樹、入山利彦、大塚隆夫、片柳利隆、細谷勝庸、川瀬忠夫、川原照男、北村重憲、久保芳二、鴻田益孝、桜庭康碩、佐藤直司、篠原 仁、菅谷正樹、野村 昭、高沢攻二、唐須教光、中西紘二、西松 実、灰田公彦、服部光伸、服部尚弘、保坂規良、村木善郎、森田明弘、松本雅良、森村陽一、増山雅久、山口 洋、望月 洋、吉沢伸二、大海渡嘉夫、吉田善三郎、高木正泰夫人、松川勉夫妻、滝啓二夫妻、馬淵祥宏夫妻、(48名)

◎3月23日(土) 第52回ゴルフ大会 於：東名富士C.C. (幹事：森村陽一)

優勝 池田信彦  
2位 山本久方  
3位 栗原 惇



高山先生、浅原正樹、川瀬忠夫、小林三朗、佐久間勇、滝 啓二、中西紘二、橋本裕治、服部光伸、馬淵祥宏、松本雅良、森村陽一、竹腰尚美、伊藤嘉彦、伊藤まゆみ、(18名)

◎4月9日(火) 寄席鑑賞と夕食会 於：中央区立中央会館 (幹事：細谷勝庸)

高山先生夫妻、榎本邦彦、片柳利隆、山口 磐、川瀬忠夫、福原隆史、杉山 博、細谷勝庸、榊宇憲一、村木善郎、森田明弘、山口 浩、吉沢伸二、川原照男、大海渡嘉夫、吉田善三郎、鴻田益孝夫妻、坂本照夫夫妻、佐藤直司夫人・子女、栗原 惇夫妻、保坂規良夫妻、磯村吉孝夫人・友人、滝 啓二夫妻、馬淵祥宏夫妻、荒生靖彦夫人・子息、(35名)

落語家界の重鎮、古今亭志ん朝師匠や日本でも数少ない「あやつり」人形師の ニューマリオンネットなどテレビでお馴染みの大御所の出演に満席のお客様より大喝采。笑いは健康のもと、久し振りに腹の底から爆笑し良い気分転換になりました。その後久方ぶりに銀ブラで4丁目を通り越し7丁目にある「ドイツ・ミュージック・レストラン」で美しい調べを聞きながらおいしい料理と生ビールで乾杯。高山先生ご夫妻も参加、ご夫人が全体の1/3と和やかな一夜になりました。

<今後の予定>

夏 インターネット体験 (日立メディアルネット サンス 恵比寿ガーデンプレイス内)

秋 歌舞伎鑑賞、第53回ゴルフ大会

冬 原子力発電所見学 (東電柏崎刈羽発電所)

(馬淵記)

## 12 期

慶應義塾大学を昭和41年に卒業した我々は、今年でちょうど卒業30年になります。『連合三田会』での幹事年度になるわけです。同期生一同、大学時代のクラス、ゼミ、サークル活動別に、それぞれ『'96慶應連

合三田会大会』(10月13日・日吉の丘)の成功に向けて活躍をしているところです。

「REUNION ON THE HILL」(再び集まろうあの丘の上で)のスローガンを合い言葉に、がんばっております。『慶應志木会』会員皆様のさらなるご協力ご支援をお願いするものです。

(朝倉記)

## 25 期

去る1月27日池の端ホテルCOSIMAにて第25期初の同期会が開催されました。

出席者は先生11名、卒業生82名の大盛会で、遠くは北海道から駆け付けてくれた仲間もいました。

当日は訓告経験者の体験談や、吉田先生の模擬授業、最後には塾歌、応援歌の大合唱等もあり、なごやかに旧交を温めました。出席いただいた先生は下記の通りです。

鐵野校長、建部、野口、伊藤(明)、吉田、後藤、渡嘉敷、渡部、高木、龍田、本井各先生。

この中の3名の先生に2次会の最後までお付き合い頂きました。(偶然にもイニシャルは3名ともT先生です。)会場となりましたホテルCOSIMAは我々の同期の小島君が副支配人をしています。他の期の方で同期会の会場をお探しの場合は是非ご連絡下さい。

連絡先：03-5885-7111 ホテルCOSIMA

副支配人 小島 毅

(高橋記)

## 写真部OB会

平成9年3月に前部長の渡嘉敷先生が勇退されます。お世話になりました。

写真部及び天文部のOB会を来春開催の予定です。今秋(10月か11月)に、役員会を開きますので、両部OB会の方は、下記までご連絡下さい。

今村 巍 (14期)

048-854-5744

# 文化部NOW | 第1回

マンドリンクラブ 現部長 三條 彰久

KSMC・・・慶應志木マンドリンクラブです。この3月20日に第30回の記念すべき定期演奏会を上野の石橋メモリアルホールで、盛大に開催しました。OBステージに出演された方々はもちろんのこと、日頃から指導・支援をいただいたOB諸兄に篤く御礼申し上げます。当日は、1978年に部長を務めることとなって以来の多くの卒業生の方の顔が脳裏をかすめ、また部創草期の方のご苦労を想いつつ演奏を聴いておりました。

卒業後、KMCに入られた人、各方面に進まれた人それぞれに益々活躍されていることと思います。最近、産経新聞紙上で東大野球部に「35歳の新人入部」という記事を認めましたが、その張本人が第29期のマクラキャプテンであった高橋将人君でした。塾を卒業後、教養学部で昨年入学の由、唯々頭が下がるばかりです。

服部先生が引退され、長く御無沙汰しておりますが大阪のフェスティバル前や定期演奏会の前に、必ず志木高までレッスンに来て頂いていた頃も今は、懐かしい記憶です。「志木のどらやき」の味と共に・・・。

取りとめもない近況報告となりましたが、今年も8名の新入部員を迎え新たにスタートした今日この頃です。



# MESSAGE

- 平成7年度慶應志木会の収支決算につきましては5月24日(金)に開催されました幹事会において次のとおり承認されましたのでご報告いたします。

平成7年度 慶應志木会事業収支 (95.04.01-96.03.31)

平成8年3月31日現在

科 目	収 入 金 額	科 目	支 出 金 額
新 入 会 費	1,030,000	会 報 費	3,155,470
名 簿 収 入	20,000	会 議 費	902,390
広 告 収 入	0	式 典 費	198,000
預 金 利 息	258,332	人 件 費	693,600
物 販 収 益	3,084	交 際 費	50,240
打 上 会 費	275,000	収 穫 祭	500,000
会 費	2,210,000	事 務 費	151,405
次 期 会 費	2,090,000	通 信 費	72,350
預 り 金	230,000	振 込 手 数 料	21,836
(未 回 答 分)		名 札 代 金	93,719
寄 付 金	370,000	寄 付 費	300,000
二 重 入 金	230,000	パ ソ コ ン ソ フ ト 等	316,693
(返 却 分)		会 費 返 却	230,000
収 入 計	6,716,416	支 出 計	6,685,703
前 期 繰 越 金	24,720,155	次 期 繰 越 金	24,750,868
(95.4.1)		(95.11.30)	
合 計	31,436,571	合 計	31,436,571

本件に関するご照会は下記宛お願いします。  
 財務委員 大道賢二(12期) TEL 3572-1436  
 轟 幸夫(27期) TEL 5511-5188

- 来年第3回目の名簿発行を予定しています。  
 秋・冬号で住所不明会員のリストを掲載しますので、  
 ご存知の方は下記へご連絡下さい。

連絡先：〒353 志木市本町4-14-1

慶應志木高校 竹内富美子 宛

TEL (048) 471-1361

# 志木会レポート

●平成8年度の役員につきましては下記のメンバーで運営していきますのでご協力よろしくお願いたします。なお、本年度より会員となりました46期の幹事は伊集院弘和君を指名させていただきました。

平成8年度慶應志木会役員一覧表

- ・名誉会長 鐵野善資 (校長)
- ・会長 櫻井英太郎 (1期)
- ・副会長 多田 毅 (7期) 五老輝彦 (9期) 伊藤明治郎 (主事)
- ・監事 龍野和久 (1期) 菅原 武 (7期)
- ・幹事長 大谷 照 (1期)
- ・幹事、世話人

期	氏 名 (*印世話人)				
1	菊池誠之助	藤井 淳	遠山正秀	浅川 浩	
2	*佐藤弘司	鴻田一章	菅野光男	岩瀬 充	
3	品川 仁	岩崎勝利	*藤岡民良		
4	高橋公郎	立岡 進	小林石三		
5	宮田 勝	*寺嶋延行			
6	真野信裕	松本福太郎	早川 進	渡辺忠彦	
7	鈴木正治	平澤壽朗	磯部和宏	今村信男	志知英男
8	*青木宏至	大須賀均	加島延夫		
9	*久保田晃功	南部達雄			
10	*荒木幸生	馬場紘二	馬淵祥宏	朝倉和行	黒崎明雄
11	*鴻田益孝	*桜井 馨	*伊藤清一		*品川雅貴
12	*岡本 哲	*大道賢二			
13	*千葉宗雄	清水武寿	佐久間義雄	今村 颯	
14	島崎 茂	石塚久恭	*原田 薫	倉田伸二	*鈴木祐一
15	*本橋重夫	*小笠原準一			
16	川端清治	松島茂樹	*増山治一郎	莊 敬典	宗田文明
17	*西村孝一	*須永泰司			
18	奥村一人	福島由明	二島洋司	*星野恭一郎	
19	*中西廣策	藤本賢夫	杉 雅俊		
20	中 一弥	金子博志	*内山洋一	小野田哲也	
21	*福地敏之	*飯島敏一			
22	*金子康雄	桜井造雄	*谷口 治		
23	外山公夫	*中村弘司	田沼 潔	長本 誠	
24	*赤木 均	島影幸有	小川 洋		
25	高橋宣行	金子 泉	*轟 幸夫		
26	山崎嘉正	大山俊雄			
27	吉野幸宏	望月 一			
28	大館 信	木村尚行			
29	佐々木任人	木島一郎			
30	岸田一男	曄道佳明			
31	内匠屋健	横江資友			
32	町野素久	河野 潔			
33	小玉 裕	宇賀神 隆			
34	山下 孝	業天浩二			
35	松島 修				
36	石川公一郎	鍋島泰友			
37	原田純一	知久康成			
38	平尾圭一	*岡本健司	田中浩樹		
39	*丸山和紀	税所篤史			
40	*井上晴生				
41	柏木 徹				
42	小島 圭				
43	萩原一暁				
44	宮田真詞				
45	小山 一				
46	伊集院弘和				

## 編集後記

今回40期の井上晴生君が  
はじめて編集に参加してくれました。これからも、  
若い人の参加を心から待っています。(N)

## 慶應志木会会報 1996(春・夏) ●vol.15

平成8年6月20日発行  
編集・発行 慶應志木会(慶應義塾志木高等学校同窓会)  
〒353 志木市本町4-14-1  
発行人 櫻井英太郎  
印刷 (株)精興社